

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について（周南市）

## 1 調査の概要

### (1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組を通じ、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 平成31年4月18日（木）

(3) 調査の方法 悉皆調査

(4) 調査を実施した校数・児童生徒数

学 年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	26校	児童 1,152人
中学校第3学年	14校	生徒 1,117人

### (5) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語『聞くこと』『読むこと』『書くこと』に関する問題の合計）  
※ 平成31年度調査より、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のAB区分がなくなりました。
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - 児童生徒に対する調査 【小学校…58項目 中学校…69項目】
  - 学校に対する調査 【小学校…64項目 中学校…80項目】

参考データ 平成31年度 平均正答率（%）

	小 学 校		中 学 校		
	国語	算数	国語	数学	英語
全 国	63.8	66.6	72.8	59.8	56
山口県	68	67	74	61	55

※ 中学校英語は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題の合計

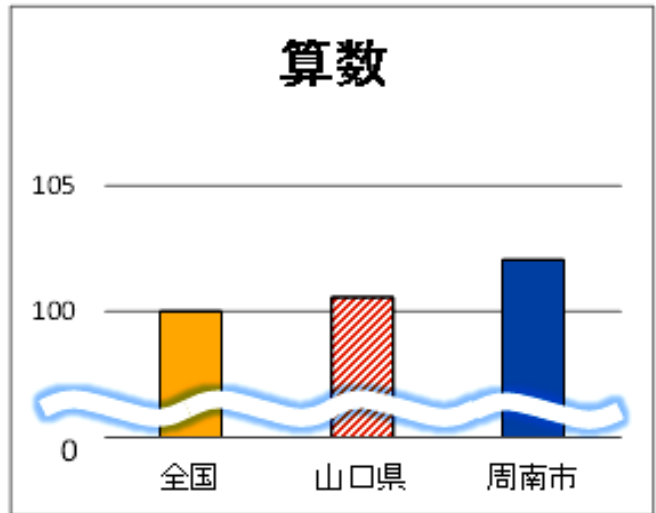
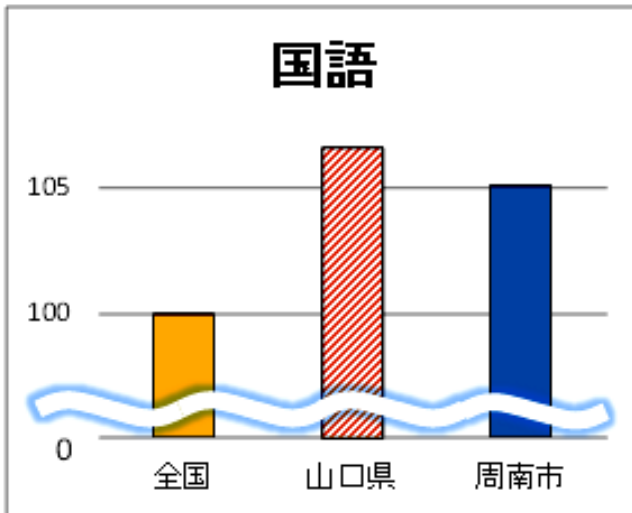
※ 「全国」は、全国の公立学校を対象とした数値

## 2 結果の概要

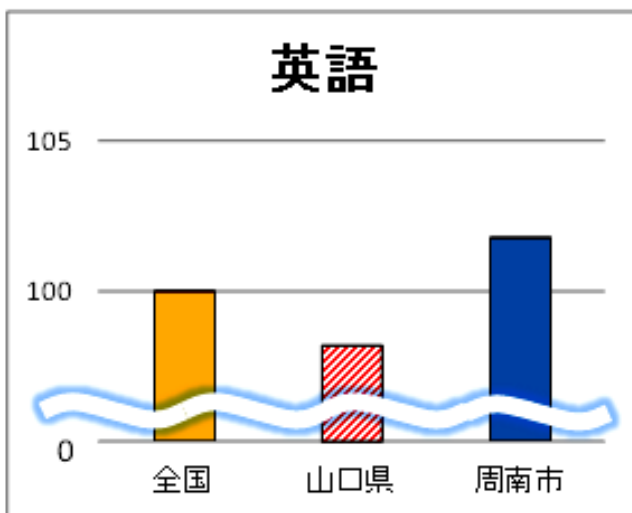
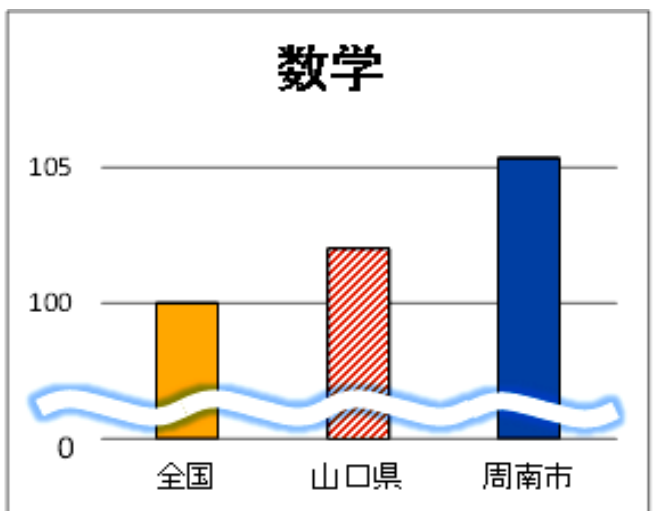
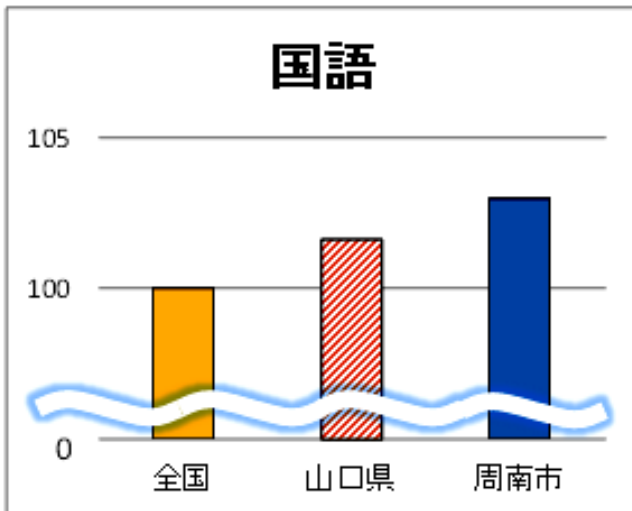
### (1) 教科に関する結果 (グラフ)

下のグラフは、平成31年度における全国平均正答率を100としたときの周南市と山口県の平均正答率の割合を示したものである。

#### <小学校>



#### <中学校>



## (2) 教科ごとの結果

周南市においては、全ての教科において、全国平均正答率を上回る結果となったが、全国平均との比較について、詳細を以下に示す。その際、次のように表現する。

- ・ 0%以上2%未満の差・・・「やや」
- ・ 2%以上4%未満の差・・・「かなり」
- ・ 4%以上の差・・・・・・・・・・「非常に」

### ① 小学校国語

周南市の平均正答率は全国平均をかなり上回っている。

#### 【成果が見られた点】

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと〔問題番号2一(1)〕
- 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと〔問題番号2二〕

#### 【課題のある点】

- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと〔問題番号1三〕
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと〔問題番号1四(1)〕
- 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って、内容を分けて書くこと〔問題番号1四(2)〕

### ② 小学校算数

周南市の平均正答率は全国平均をやや上回っている。

#### 【成果が見られた点】

- 台形について理解すること〔問題番号1(1)〕
- 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読みとること〔問題番号2(1)〕

#### 【課題のある点】

- 問題形式が「記述式」の問題
  - ・ 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること〔問題番号1(3)〕
  - ・ 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用料の増減を判断し、その理由を記述すること〔問題番号2(3)〕
  - ・ 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること〔問題番号3(2)〕
- 示された除法の式の意味を理解すること〔問題番号3(4)〕

③ 中学校国語

周南市の平均正答率は全国平均をかなり上回っている。

【成果が見られた点】

- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること〔問題番号3一〕
- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと〔問題番号3二〕

【課題のある点】

- 封筒の書き方を理解して書くこと〔問題番号1四〕
- 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと〔問題番号2三〕

④ 中学校数学

周南市の平均正答率は全国平均をかなり上回っている。

【成果が見られた点】

- 平行移動の意味を理解すること〔問題番号3〕
- 総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈すること〔問題番号9（3）〕

【課題のある点】

- 「関数」の領域に関わる問題
  - ・ 与えられた情報から、数学的な結果を事象に即して解釈すること〔問題番号6（1）〕
  - ・ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること〔問題番号6（2）〕
- 問題形式が「記述式」の問題
  - ・ 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明すること〔問題番号7（3）〕
  - ・ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること〔問題番号8（2）〕

⑤ 中学校英語（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題の合計）

周南市の平均正答率は全国平均をやや上回っている。

【成果が見られた点】

- 情報を正確に聞き取ること〔問題番号1（1）（2）（3）〕
- まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解すること〔問題番号3〕

- 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読みとること〔問題番号5（1）〕

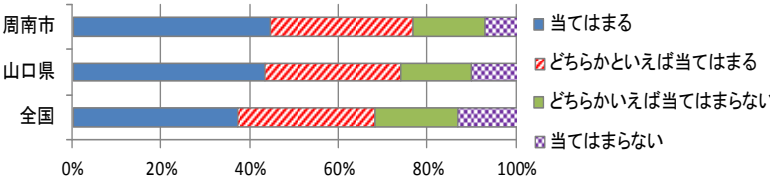
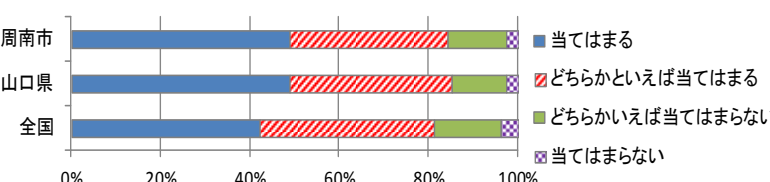

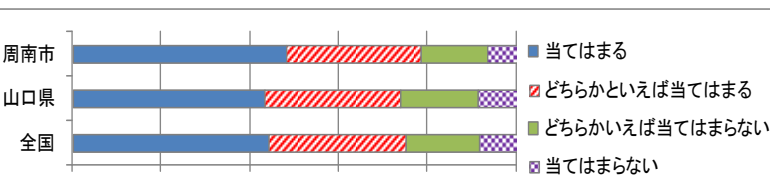
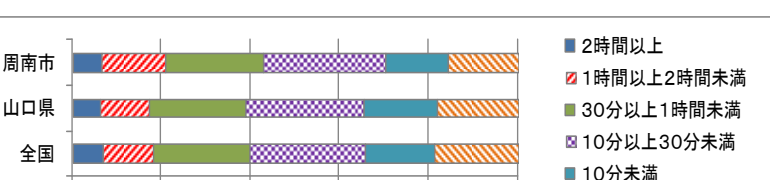
【課題のある点】

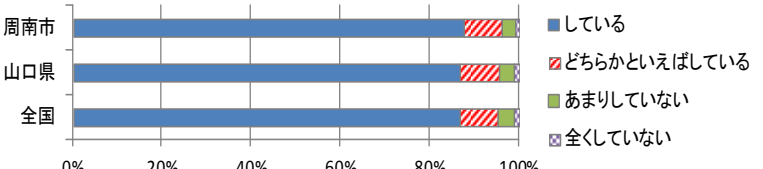
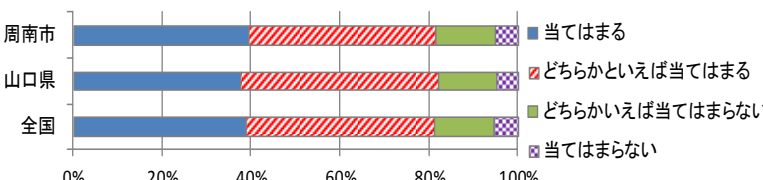
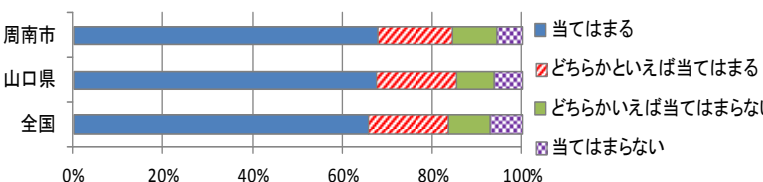
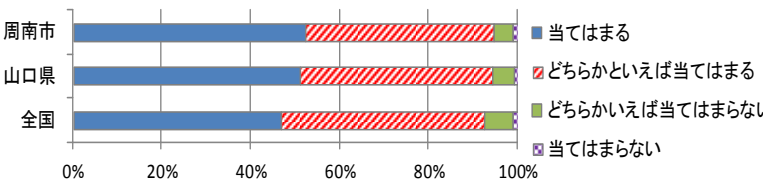
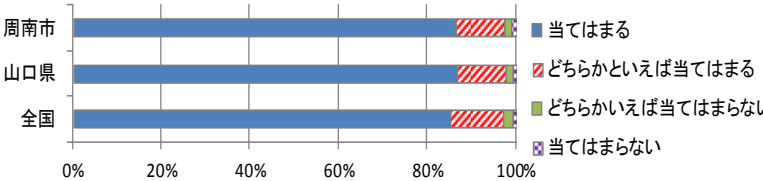
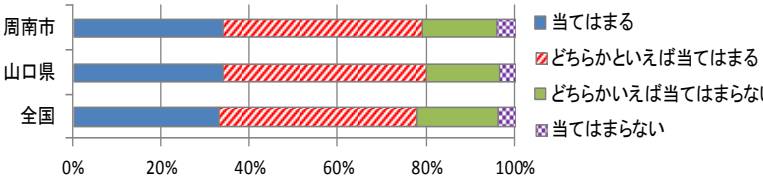
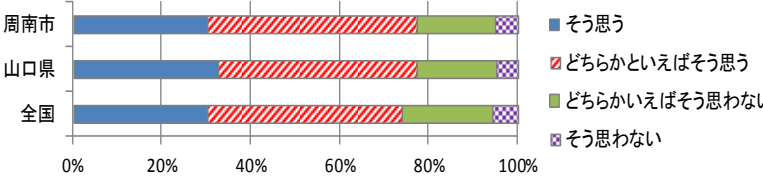
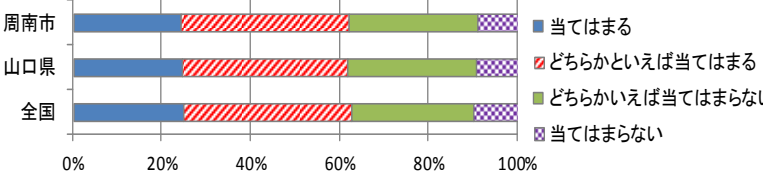
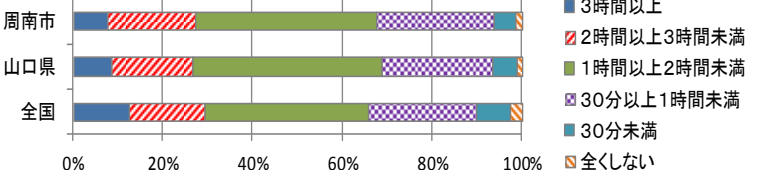
- 問題形式が「記述式」の問題（外国語表現の能力）
  - ・ 聞いたことを基にして、適切な応答を相手に返すこと〔問題番号4〕
  - ・ 書かれた内容を読んだ後に、感想や意見、賛否、またその理由を示すことを念頭に置いて自分の考えを書くこと〔問題番号8〕
  - ・ 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと〔問題番号10〕
- まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解すること〔問題番号7〕
- 一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くこと〔問題番号9（2）②〕

(2) 生活習慣や学習習慣等に関する結果

※ 国や県の回答率と比較して、0%以上2%未満の差は「同程度」と表現する。

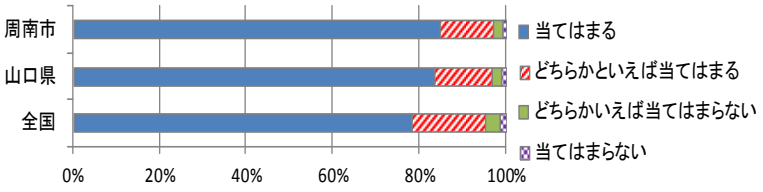
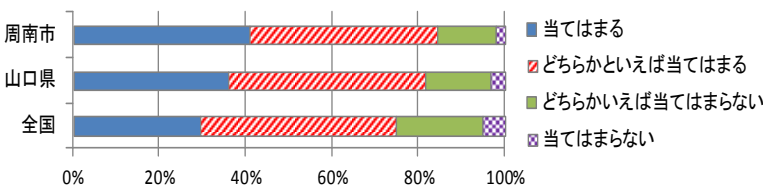
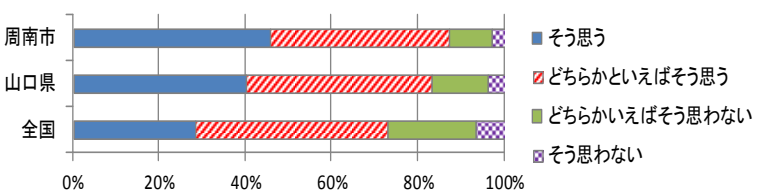
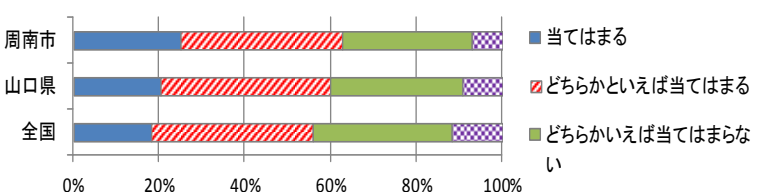
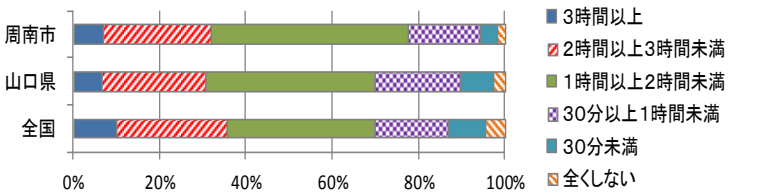
① 児童に対する調査（小学校）

<p>今住んでいる地域の行事に参加していますか</p>		<p>肯定的回答をした児童の割合は、国や県に比べ高い。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度である。</p>
<p>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか</p>		<p>肯定的回答をした児童の割合は、8割を超え、国に比べ高く、県と同程度である。</p>
<p>5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか</p>		<p>「週1回以上」と回答した児童の割合は、国や県に比べ高い。</p>
<p>読書は好きですか</p>		<p>肯定的回答をした児童の割合は、国や県に比べ高い。</p>
<p>学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）</p>		<p>「1時間以上」と回答した児童の割合は、国や県に比べ高い。昨年度と比較し、「1時間以上」と回答した市内の児童の割合は、同程度である。</p>

朝食を毎日食べていますか	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ している ■ どちらかといえばしている ■ あまりしていない ■ 全くしていない</p>	肯定的回答をした児童の割合は、9割を超え、国や県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度である。
自分には、よいところがあると思いますか	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない</p>	肯定的回答をした児童の割合は、8割を超え、国や県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、減少している。
将来の夢や目標を持っていますか	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない</p>	肯定的回答をした児童の割合は、8割を超え、国や県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度である。
学校のきまりを守っていますか	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない</p>	肯定的回答をした児童の割合は、9割を超え、国に比べ高く、県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、増加している。
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない</p>	肯定的回答をした児童の割合は、9割を超え、国や県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度である。
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない</p>	肯定的回答をした児童の割合は、国や県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度である。
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない</p>	肯定的回答をした児童の割合は、国に比べ高く、県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、減少している。
5年生までに受けた授業について、授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない</p>	肯定的回答をした児童の割合は、国や県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度である。
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	 <p>周南市 山口県 全国</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 3時間以上 ■ 2時間以上3時間未満 ■ 1時間以上2時間未満 ■ 30分以上1時間未満 ■ 30分未満 ■ 全くしない</p>	「2時間以上」と回答した児童の割合は、国に比べ低く、県と同程度である。昨年度と比較し、「2時間以上」と回答した市内の児童の割合は、増加している。

② 生徒に対する調査（中学校）

<p>今住んでいる地域の行事に参加していますか</p>	<p>■ 当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまらない          ■ 当てはまらない</p>	<p>肯定的回答をした生徒の割合は、国や県に比べ高い。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、増加している。</p>
<p>1、2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか</p>	<p>■ 当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまらない          ■ 当てはまらない</p>	<p>肯定的回答をした生徒の割合は、9割を超え、国や県に比べ高い。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか</p>	<p>■ ほぼ毎日          ■ 週1回以上          ■ 月1回以上          ■ 月1回未満</p>	<p>「週1回以上」と回答した生徒の割合は、国や県に比べ高い。</p>
<p>読書は好きですか</p>	<p>■ 当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまらない          ■ 当てはまらない</p>	<p>肯定的回答をした生徒の割合は、国や県に比べ高い。</p>
<p>学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）</p>	<p>■ 2時間以上          ■ 1時間以上2時間未満          ■ 30分以上1時間未満          ■ 10分以上30分未満          ■ 10分未満          ■ 全くしない</p>	<p>「1時間以上」と回答した生徒の割合は、国や県に比べ高い。昨年度と比較し、「1時間以上」と回答した市内の生徒の割合は、同程度である。</p>
<p>朝食を毎日食べていますか</p>	<p>■ している          ■ どちらかといえばしている          ■ あまりしていない          ■ 全くしていない</p>	<p>肯定的回答をした生徒の割合は、9割を超え、国に比べ高く、県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、増加している。</p>
<p>自分には、よいところがあると思いますか</p>	<p>■ 当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまらない          ■ 当てはまらない</p>	<p>肯定的回答をした生徒の割合は、国に比べ高く、県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、減少している。</p>
<p>将来の夢や目標を持っていますか</p>	<p>■ 当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまらない          ■ 当てはまらない</p>	<p>肯定的回答をした生徒の割合は、国に比べ高く、県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度である。</p>
<p>学校の規則を守っていますか</p>	<p>■ 当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまる          ■ どちらかといえば当てはまらない          ■ 当てはまらない</p>	<p>肯定的回答をした生徒の割合は、9割を超え、国や県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度である。</p>

<p>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか</p>		<p>肯定的回答をした生徒の割合は、9割を超え、国に比べ高く、県と同程度である。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度である。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか</p>		<p>肯定的回答をした生徒の割合は、8割を超え、国や県に比べ高い。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度である。</p>
<p>生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか</p>		<p>肯定的回答をした生徒の割合は、8割を超え、国や県に比べ高い。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度である。</p>
<p>1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか</p>		<p>肯定的回答をした生徒の割合は、国や県に比べ高い。昨年度と比較し、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度である。</p>
<p>学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）</p>		<p>「2時間以上」と回答した生徒の割合は、国に比べ低く、県と同程度である。昨年度と比較し、「2時間以上」と回答した市内の生徒の割合は、減少している。</p>

### ③ 学校に対する調査

下に示した調査項目は、周南市内の小・中学校の学校質問紙への回答について、全国と比較して、望ましい傾向にある項目を○で、やや課題の見られる項目を●で示したものである。（学校の教育活動全般についての前年度までの取組等について回答）

#### 学習指導、校内研修に関すること

- 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
- 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動（小学校のみ）、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか
- 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか
- 教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか
- 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか



- 調査対象学年の児童生徒に対して、道徳の時間において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか
- 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか
- 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか
- 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)
- 〈小学校において〉調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか
- 〈中学校において〉学校として業務改善に取り組んでいますか
- 〈中学校において〉調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか
- 〈中学校において〉調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしていますか(教科共通)
- 〈小学校において〉調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか  
→「ほぼ毎日」と回答した割合が、全国に比べ低い

#### 小中連携に関すること

- 前年度までに、近隣等の小中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
- 前年度までに、近隣等の小中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか
- 平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小中学校と成果や課題を共有しましたか

#### 地域連携に関すること

- 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか
- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか
- 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか

### 3 今後の取組

#### 【周南市教育委員会としての取組】

- 本市独自に作成し、継続して修正・改善を加えている「授業づくりのスタートライン」を踏まえた授業づくりをさらに進め、授業の導入や終末の改善、学習課題の追究に向けた発問や活動に焦点を絞り、引き続き授業改善に取り組んでいく。

授業づくりのスタートライン - 小学校 - Ver. 2019		授業づくりのスタートライン - 中学校 - Ver. 2019	
周南市教育委員会		周南市教育委員会	
押さえておきたいポイントおよび留意事項		押さえておきたいポイントおよび留意事項	
導 入	<p><b>めあて</b> を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この時間に身に付けさせたい資質・能力等を教師が明確にもち、児童にとって必要感のあるめあて（学習課題等）を設定しましょう。</li> <li>めあてを示すタイミングを工夫し、黒板に分かりやすく示しましょう。</li> </ul>	導 入	<p><b>授業のめあて</b> または <b>学習課題</b> を明確に示す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時に身に付けさせたい資質・能力等を教師が明確にもち、適切なめあてや学習課題を設定しましょう。</li> <li>「授業のめあて」・「学習課題」は、提示するタイミングを工夫し、黒板に分かりやすく示しましょう。</li> </ul>
	<p>学習課題の追究を促す <b>主発問</b> をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主発問に対して、児童が自分の考えをもち、表現する場を設けましょう。</li> </ul>		<p>授業のめあての達成や学習課題の追究に向けた <b>主発問</b> をする</p> <p>授業のめあての達成や学習課題の追究に向けた <b>活動</b> を仕組む</p> <p>※ 「主体的・対話的で深い学び」を意識した展開になるよう工夫しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主発問に対して、生徒一人ひとりに自分の考えをもたせましょう。</li> <li>生徒が考えるために必要な情報・資料が十分か確認しましょう。</li> <li>思考力・判断力・表現力等を育成するために、<b>授業形態</b>を工夫し、言語活動を積極的に仕組みましょう。</li> </ul>
	<p>学習課題の解決に向けた <b>活動の場</b> を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流の場を工夫し、児童が自他の考えを広げたり深めたりできるようにしましょう。</li> </ul>		<p>授業のめあてや学習課題に対応した <b>まとめ</b> を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時で学びとらせたいことを、教師がまとめるだけでなく、生徒一人ひとりに自分の言葉でまとめさせるなどの工夫も大切です。</li> </ul>
	<p>身に付けたことを実感させるための <b>振り返り</b> を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>めあてに対応したまとめを行きましょう。</li> <li>振り返りでは、何が分かって（できて）、何が分からなかった（できなかった）かを児童に自覚させ、本時の学びを次時の学習や家庭学習につなげる工夫をしましょう。</li> </ul>		<p>授業の <b>振り返り</b> を行い、学習内容の定着を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを達成したかをはかることができる活動（評価活動）を仕組みましょう。</li> <li>生徒に授業を振り返らせ、何が分かって（できて）、何が分からなかった（できなかった）かを自覚させ、家庭学習につなげる工夫をしましょう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童にとって、<b>分かりやすい（学習したことがよく分かる）板書</b>となっているか確認してみましょう。</li> <li>「生徒指導の3機能」（周南市教育委員会）の視点から授業を見直してみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自己存在感</li> <li>自己決定の場</li> <li>共感的な人間関係</li> </ul> </li> <li>特別支援教育の視点からも授業を見直してみましょう。 （例）指示は短く、はっきりと、落ち着いた口調で など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>構造的な板書（学習したことがよく分かる板書）にするために、板書計画をもって授業に臨みましょう。</li> <li>周南市教育委員会が示す「生徒指導の3機能」の視点から授業を見直してみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自己存在感</li> <li>自己決定の場</li> <li>共感的な人間関係</li> </ul> </li> <li>特別支援教育の視点からも授業を見直してみましょう。 （例）指示は短く、はっきりと、落ち着いた口調で など</li> </ul> <p>※ 上記の「押さえておきたいポイント」をふまえ、各教科の特性に応じて授業をデザインしましょう。</p>	
終 末		終 末	

- 夏季休業中に、各小中学校における関係者を招集し、学力向上担当者会議を開催する。全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく本市の傾向や課題を周知するとともに、2学期からすぐに実践できる授業改善の具体的例示を行う。更に、会議の中で、「授業改善」「補充学習」「家庭学習」の視点を踏まえた各校の学力向上に係る取組について、情報を共有したり協議したりする場を設けることで、今後の取組を活性化を図る。
- 毎月、学力向上推進リーダー、学力向上推進教員、英語教育推進教員を対象とした学力向上対策会議を開き、各校における学習状況や授業づくりについての情報や成果・課題を共有する。更に課題を踏まえた上で、授業改善の視点を明確にしながら、同一歩調で各校の指導に当たるようにする。また、各校への訪問の中で、学力向上につながるような取組があった場合には、学力向上便りで広めていく。
- 学校がもつ教育力を更に高めるために、周南市教育研究センター主催の若手教員の研修会等を通して、教師の指導力向上、授業改善の支援に努める。また、小中連携やコミュニティ・スクール等、地域の教育力を活用した指導場面の設定や校内研修を促進する。